

# 先輩から後輩へ受け継がれる『感謝の心』 日本を飛び出し、グローバルな活躍を目指す！

写真左から／東雅人君、数祐伍君（いずれも中3）と担任の小川弦太先生、語学研修に向けて、これから準備を進めています。



## 星城中学校

ADDRESS 〒470-1161  
愛知県豊明市栄町新左山20

TEL 0562-97-3121(代)

ACCESS 最寄駅／名鉄名古屋本線「前後」駅より徒歩15分、  
「前後」駅、地下鉄桜通線「徳重」駅よりシャトルバスを運行

### 『感謝の心』を持った、 グローバル人材を育成

「彼我一体」を建学の精神に掲げている星城中学校・高等学校。創立者の石田鑑徳先生の「感謝は感激によって生ずる。いや感謝は感激である。相手に感激して止むに止まれず、有り難さに心身を捧げようとするのが感謝である」という言葉に則り、「感謝のできる実践力に富んだたくましい人間の育成」を目指した教育活動を展開しています。

高等学校は文部科学省より「地域協働推進校」の指定を受け、「地域との協働による高等学校教育、改革推進事業」に取り組んでいます。この取り組みはSGH（スーパーグローバル・ハイスクール）の後継事業の一つであり、学校が市町村や産業界などと協働してコンソーシアムを構築し、地域課題解決などの探究的な学びを実現する取り組みです。

中学校の教育活動は高校の活動に結びついています。ユネスコスクールE・SD活動を通じて、生徒の視野を広げ、多種多様な考えや意見を認め、尊重し合える豊かな心を育てることが目標です。新聞を活用した授業も積極的に取り入れており、「時代を捉える力」を伸ばすことにも注力しています。

### 日本からオーストラリアへ 一大プロジェクトを計画

同校では自然体験学習でお世話になっている福井県・美浜町の方たちへ感謝の気持ちを込めて、町おこしのための課題調査や政策提言に取り組みできました。その活動は例年、先輩から後輩へと引き継がれているものです。今年の中3生は先輩たちが提言した美浜町の特産品づくりの実現に向けて、中1時から美浜町のさつまいもを使った「焼き芋バウムクーヘン」の商品化に取り組みできました。「生徒のお世話になった市町への『感謝の心』からスタートした活動は、まさに建学の精神の具現化といえます」と話すのは中3生の担任である小川弦太先生です。



美浜町の「みはまナビフェス」では「焼き芋バウムクーヘン」を販売。パッケージのデザインも生徒たちが考案するなど商品化に向けて本格的に取り組みました。

#### INFORMATION

##### ■オープンスクール

- 6月27日(土) 午前 授業体験
- 9月26日(土) 午前 公開感謝祭
- 11月21日(土) 午前 授業公開

##### ■保護者対象説明会

- 8月22日(土) 午前 学校紹介
- 10月31日(土) 午前 学校紹介

##### ■入試説明会

- 12月12日(土)・13日(日) 午前  
入試アドバイス・プレテスト(算数)

がわかりました。「そこで美浜町の『焼き芋バウムクーヘン』を販売すれば町おこしもグローバルに展開し、私たちが中1から続けてきた活動と語学研修がより活性化できると思います」と中3生の藪君と東君。まずは現地の日本人学校やメルボルン日本人会との交流を図るところからスタートし、卒業生にも参加をお願いする予定とのことでした。

この一大プロジェクトは、まさに学校の活動と教育目標に結びつく内容。さらに今後は豊明市との連携を深めた活動と美浜町での活動をつなぐ「中学生サミット」の開催も展開していく予定です。同校の今後の活動から目が離せません。